



We Serve

友愛



No 5

掲げよう

価値ある奉仕とL字の仲間

ライオンズクラブ国際協会 333-C地区 地区ニュース 1995年5月20日発行(1994-1995)



333-C地区ライオンズ憲章

われわれは、ライオンズクラブ草創の原点にたちかえり、
その崇高な精神を信奉し、
会員である誇りと自覚をもって、
ライオンズ永遠の発展に寄与するため、
会員の総意を結集し、ここに地区ライオンズ憲章を制定して、
その理想実現に邁進するものである。

1. 単位クラブの尊厳と自主性を尊重しよう。
2. 奉仕の根源は愛であることを確認し、心をこめて精進しよう。
3. 友情によって相互理解と強固な団結をはかろう。
4. 組織の簡素合理化と経費の節減につとめよう。
5. グッドスタンディングとは、積極的参加の意欲であることを理解し、指導力の開発にはげよう。

ライオンズクラブの目的

- 世界の人びととの間に相互理解の精神をつちかい発展させる。
- よい施政とよい公民の原則を高揚する。
- 地域社会の生活、文化、福祉および公德心の向上に積極的関心を示す。
- 友情、親善、相互理解のきずなによってクラブ間の融和をはかる。
- 一般に関心のあるすべての問題を自由に討論できる場を設ける。ただし、政党、宗派の問題をクラブ会員は討論してはならない。
- 奉仕の心を持つ人びとが個人の経済的報酬なしに社会に奉仕するようはげまし、また、商業、工業、専門職業、公共事業および個人事業の効率化をはかり、道徳的水準をさらに高める。

ライオンズ道徳綱領

- 職業に対する不断の努力が正しく賞賛されるように心がけ、自己の職業の尊さを確認すること。
- 事業を成功させて、適正な報酬や利益は受けるべきであるが、自己の立場を不当に利用したり、人に疑われる行いをして自尊心を傷つけてまでも利益や成功を求めないこと。
- 事業を遂行するにあたっては、他人の事業を妨害しないように心がけ、顧客や取引先に誠実であり、自己にも忠実であること。
- 他人に対する自己の立場や行いに疑いが生じたときは、世人の立場に立って解決にあたること。
- 真の友情は損得の上に築かれるものでなく、心と心のふれ合いによるものであることを自覚し、手段としてではなく目的として友情をもつこと。
- 国家および地域社会に対する公民の義務を忘れず、かわらぬ忠誠を言動にあらわし、すすんで時間と努力と資力をささげること。
- 不幸な人には同情を、弱い人には助力を、貧しい人には私材を惜しまないこと。
- 批評は謙虚に、賞賛は惜しみなく、建設を旨として破壊をさけること。

CONTENTS 友愛 NO.5

LIONS REPORT

L.ウィリアム・H・ワンダー 4. 国際第一副会長ご夫妻が公式訪問

LIONS REPORT

第41回年次大会報告 5. 第41回年次大会盛会の内に終わる

6. 「がんばれ！神戸」ステッカーキャンペーン協賛のお願い

7. 兵庫県南部地震（阪神大震災）義援金拠出状況

8. LIONS CLUB活動レポート

成田平成LC／日本チャリティーラン四国編
柏グリーンライオンズクラブ／結成15周年を祝う
飯岡ライオンズクラブEXT委員会／海上LC結成式
千葉中央ライオンズクラブ／限りなく前進あれ、人々の理解を望んで
創造性に富んだまち「姉崎」に新しいクラブが
袖ヶ浦ライオンズクラブ／阪神大震災への義援金募集活動
船橋ライオンズクラブ／大災害に備えての提言
松戸ユウカリライオンズクラブ／JR北小金井駅前に歩行者通路を造る
松戸南ライオンズクラブ／チャリティーゴルフ大会
関宿ライオンズクラブ／町長も献腎、献眼に協力

17. 1994冬期YE派遣生／来日生報告

飯島水穂／素晴らしいマレーシア
寺地仁美／父は、涙を流しながらスピーチしてくれた
飯沼友美／ニュージーランドは、すぐ身近になった
脇 陽一／早く海外に眼を向け、英語を勉強していれば
川島美知子／マレーシア大好き
Sarah Kate Wellington／船橋中央ライオンズクラブの皆さんへ
Doreen Yeap／日本は寒かったが、心はとてもあたたかった
Sharon Low Bee Luan／日本は、豊富な興味深い面を持った国
Mak Khuiq Weng／日本で得た私の経験
Ooi Su Guan／楽しい時を過ごすことができた
Olivia Lee Shien Hui／沢山の思い出を、友達に話すのが楽しみ
Sharon Low Bee Luan／地震のないマレーシア

25. MJF受賞者名簿

27. 編集後期



Lウィリアム・H・ワンダー 国際第一副会長ご夫妻が公式訪問

MD331.332.333.334複合地区公式訪問のため来県、
3月21日(火)午後2時浦安市舞浜『東京ベイヒルトン』に於いて開催された。

フェニックスで開かれた第77回国際年次大会で第1副会長に選出され、MD331.332.333.334の複合地区へ公式訪問がなされた。浦安市『東京ベイヒルトン』にて、浦安LC他ホストクラブの協力により、歓迎晩餐会も合わせて行われ、333C地区は江畑ガバナー他100名が出席された。

ワンダー副会長は、ライオンであるトロシー夫人、二人の息子、一人の娘、4人の孫の家族。

MD331ガバナー協議会議長L山形政明から、『日本のライオンズクラブのあり方を今一度考える機会としたい』と、開会の挨拶がなされた。

ウィリアム・H・ワンダー国際第一副会長の挨拶の主旨は次のとおりです。

『大変光栄に存じます。

日本の未来のライオニズムとは何か。

未来のビジョンをもっているか。

2,000年のメンバーシップはどうなっているか。メンバーはどうなっているのか。それをだれがきめるのか。あなた方がそれをきめるのです。今日、何が起こるか判っていたはずです。ここに来られたことは前にわかっていたはずです。

ビジョンと行動計画は一緒にすべきで、10%のメンバーを増やしたければ、今日計画の実行をしなければなりません。来年の計画は今日計画しなければなりません。行動にビジョンがあれば成功します。

もう一つ、クラブの役員の十分なトレーニングを積むべきです。自分の義務がなんであるか理解できるようトレーニングを積むべきです。

今、日本人の12万人のメンバーの内、5万人がメルビンジョンズフェローです。スリランカの保育所建設の他多くの奉仕に役立っています。心から感謝しております。ありがとうございました。』



あさひに集う L字の仲間

第41回年次大会 盛会のうちに終わる



「壇上の皆さん」

知事・国会議員・県会議員・市長さん
ご来賓・キャビネット構成員・クラブ会長等

1995年4月23日、旭市・県立東総文化会館にて、333-C地区第41回年次大会が盛会裡に終了した。L江畑耕作ガバナーキャビネットの総決算でもある年次大会が終了し、次期ガバナーL林静誠キャビネットに向けて、ガバナーズキーがL江畑耕作ガバナーから手渡された。詳細については、最終号“友愛”を年次大会特集号でご報告いたします。

L江畑耕作ガバナーご夫妻へ贈呈
(次期ガバナーL林静誠ご夫妻から)
ご苦労さまでした。



兵庫県南部地震(阪神大震災)義援金拠出状況

333-Cへ：'95.5.15現在・その他の窓口：4月末MR報告

R	Z	クラブ名	333-Cへ	その他の窓口へ	R	Z	クラブ名	333-Cへ	その他の窓口へ
1	1	市川川	100,000	923,591	6	1	成田田	148,000	1,000,000
		市川東	52,000				酒々井	60,000	
		下総中山	88,000	1,040,701			成田グリーン		1,000,000
		市川北	684,869				成田平成	110,000	650,000
		浦安安	1,150,000	3,649,562			富里	70,000	500,000
	2	行徳	69,000			下総	70,000		
		浦安シーサイド	1,011,174			佐倉	80,000	402,927	
		浦安中央	294,000	1,878,526		四街道		160,000	
		R 合計	3,440,043	7,492,380		八街	100,000		
		松戸中央	118,000	7,406,000		八街グリーン	48,000		
2	1	松戸中央	114,000	760,000	R 合計	686,000	3,712,927		
		松戸ユーカー	150,000	404,000	1	銚子	122,000	300,000	
		松戸南	84,000			佐原	208,000	1,105,217	
	松戸グリーン			東庄		60,000			
	2	流山	210,358	482,590		神崎	100,000		
		松戸東	108,000	500,000		銚子中央	547,000	260,353	
野田宿		300,000	100,000	八日市場		62,000			
R 合計	1,084,358	9,652,590	7	2	総武中央	98,000			
3	1	柏橋中央			680,000	2,075,648	多古	126,000	
		我孫子			193,929		大栗	150,000	
		印西			670,000	47,097	栗源	54,000	
	2	柏さくら			510,000	874,137	光	50,000	50,000
		柏中央		1,000,000	475,644	旭	450,000	101,496	
R 合計	4,469,929	6,746,470		3	飯岡	100,000			
4	1	船橋橋				1,446,210	干潟		220,000
		鎌ヶ谷			500,000		山田町	152,000	92,000
		沼南			40,000		R 合計	2,279,000	2,129,066
	2	船橋ポルト	300,000		2,349,546	1	木更津	52,000	
		船橋東	112,000	2,926,788	木更津中央		62,000		
3	船橋京葉	100,000		袖ヶ浦	78,000		261,301		
	船橋北	74,000	1,000,000	木更津金鈴	92,000		519,000		
	白井	73,000	500,000	富津	90,000		103,241		
	習志野	108,000	1,000,000	上総	70,000	100,000			
4	1	八千代	414,000	1,000,000	2	君津	94,000	1,598,400	
		習志野中央	147,100	500,000		君津中央	62,000		
	3	八千代東	100,000	300,000	R 合計	600,000	2,581,942		
		4 R 合同	636,000		9	館山	100,000		
R 合計	3,281,736	11,022,544	館山南	80,000					
5	1	千葉葉	142,000	500,000		館山中央	144,000		
		千葉中央	1,251,000			館山北	50,000		
		千葉若潮	76,000	463,444		館山南	78,000		
		千葉ポルト	68,000	1,030,000	鴨川	163,000	150,000		
		千葉幕張メッセ	94,000	676,000	2	房州白浜	58,000		
	千葉グリーン	60,000	385,620	房州朝夷		30,000			
	市原	200,000		房総勝浦		154,000			
	2	千葉エコ	175,000	310,000	夷	46,000			
		市原南	112,000		R 合計	903,000	150,000		
		千葉京葉		2,300,000	10	茂原	150,000	4,000,000	
市原コスモス		120,000		上総一宮		100,000	703,758		
R 合計	2,298,000	5,665,064	茂原長生	70,000		200,000			
その他	1	地区レオクラブ合同	221,807	(年次大会時の募金)		白子	44,000	638,000	
		流山LS		71,736		長南	74,000		
		柏橋中央LS	52,000			長柄	30,000		
		市原南LS	60,000			茂原中央	62,000	1,000,000	
		千葉京葉LS	50,000	1,440,696		茂原たちばな	46,000		
		佐原LS		30,000		東金	100,000		
		袖ヶ浦LS		30,000		2	大網白里	608,000	472,655
		木更津金鈴LS		30,000	九十九里			2,264,200	
		君津LS	80,000	128,000	成東			1,105,885	
		君津中央LS	100,000		R 合計	1,284,000	10,384,448		
館山LS	26,000		総合計		21,133,873	61,467,863			
鴨川LS	28,000								
サウスエドモントンLS	180,000	(船橋LC経由)							
キャビネット事務局職員	10,000								
合計		807,807	1,930,432						

がんばれ！神戸

STICKER CAMPAIGN

阪神大震災における
「がんばれ！神戸」ステッカーキャンペーン協賛のお願い
「がんばれ神戸」実行委員会

未曾有の「阪神大震災」で神戸は多くの人名や家屋を失いました。
もう涙もかかれた我々神戸っ子は一日も早く元の生活を取り戻そうと「がんばろう！」を合い言葉に奮闘しております。

今、全国から救済の手が差し延べられています。

でも3カ月、半年後にはこの悪夢のような「大震災」も忘れられるかも・・・。

「がんばれ！」「がんばろう！」の合言葉が築いた勇気、人と人とのふれあいをいつまでも・・・。

を願い、「がんばれ神戸」実行委員会を発足いたしました。震災直後から本社屋が倒壊したなかで、

安否情報を流し続けた地元放送局amKOBÉ（ラジオ関西）の協賛により、

ステッカーキャンペーンを行うことにしました。

すでにamKOBÉでは数回となく番組で取り上げ、

今後もキャンペーン告知を行い被災者への「心のケア」として”がんばれ神戸”と呼びかけています。

今回の災害を教訓に全国各地でも防災への再確認を呼びかける意味でも、

御協賛いただきエールを送っていただけますようお願いいたします。

すでに御協賛いただきました、神戸湊川ILCのステッカーをサンプルで同封させていただきます。

（地元では「頑張ろう！神戸」・全国版では「がんばれ！神戸」）なおステッカーには、

ご協賛のクラブ名又は企業名が入ります。貴ライオンズクラブはもとより

会員の方々の企業にもご協賛いただければ幸いです。

主旨をご理解の上、ご賛同、ご支援くださいますようお願いいたします。

ご協賛金額：一口 ¥100,000円（消費税別）

（ステッカー作成実費を除く残金は災害義援金として（株）ラジオ関西を通じ日本赤十字社兵庫県支部へ寄付します）

内容：1,000枚（210WX65H）（シルク2色印刷・ラミネート加工）

納品：基本的には貴クラブ、又は企業に送りますが、

神戸でも当方とラジオ関西グループで配布したいと思いますので枚数はご指示ください。

事務局：「がんばれ神戸」実行委員会

〒651 神戸市中央区磯上通4丁目1-32 ロイヤル磯上5F 濱崎プランニングオフィス内

協賛：貴クラブ又は企業

amKOBÉ（株式会社ラジオ関西）

申込方法：下記申込書にご記入の上「がんばれ神戸」実行委員会へFAXでお願いします。

制作日数：お申し込みご2～3週間（被災地の印刷会社を利用しますので少し時間がかかります。）

支払方法：ステッカー納品時に請求書添付（一部地域では別途郵送）

請求書到着後1週間以内に請求書に記載の口座へお振り込みください。

お問い合わせ TEL 078-391-4077（黒島） 078-272-1223（濱崎プランニングオフィス）

お申し込み FAX 078-272-1225（濱崎プランニングオフィス）

Lions 活動レポート Club

成田平成ライオンズクラブ

第4回単独日本縦断 チャリティーラン 四国編

障害者施設「いんば学舎」の建て替え資金獲得活動
L 横田 浩昌

ライオンズクラブ活動の中で、障害を持つ人が農作業をする施設「いんば学舎」と交流するようになった。「いんば学舎」は行政の援助もあまり受けられないまま、必死の活動をしています。何とか彼らのためになることをしたい。そんな想いから自分にできることは、“走ることで役に立とう”と考え列島縦断チャリティーランに挑戦することを決意した。印旛村松虫の障害施設「いんば学舎」の建て替え資金集めをするのが目的で、5月の連休中に第5回目のチャリティーランを実施中。今回は第4回の四国編を報告いたします。

障害者施設「いんば学舎」への寄付総額¥1,500,201
(1995年4月27日現在)

1994年12月24日、R.C筆頭に松山市内10クラブのライオンズメンバーに見送られ私は息子雄飛の自転車による伴走と当クラブL松岡と藤井R.Cの2台の伴走車を伴い、北風に残り少ない前髪を乱されながら四国の第一歩を走りだした。四国は山が非常に多いところで、私の故郷秩父を思いだし何か親しみを感じた。松山市内から山へ向かって走ってゆくと、東温L.Cの歓迎を受け、更に市民ランナーの方と出逢い、途中まで一緒に走り励まされて楽しい一時が過ぎ別れた。道前溪温泉に到着後、東温L.Cの方々に石鎚山に案内していただき登山までしてしまった。

伴走というと、今回何と言っても驚かされたのが東予L.Cのスポーツマン集団で4名のランナーがおり、34kmも一緒に走って下さり、思いがけないすばらしい1日を過ごす事が出来た。彼らはフルマラソン、ウルトラマラソンやトライアスロン選手であり皆さん明るい方々で、何十年来の友達のように接していただき、うれしかった。また、東予L.Cには野球のA・Bチームがあり、Aチームはいつもリジョンで優勝するほどの実力がある事を伺い、エネルギーで珍しいクラブであると思った。いつの日か全日本ライオンズクラブ運動会など実現できたらよいなと思っている。

その後順調に新居浜～伊予三島～豊中町と走り、各到着地では



地元のライオンズクラブの方々に大変お世話になり、また豊中町では前ガバナーのI塩田や、観音寺L.Cの方々にもお世話になった。瀬戸大橋で有名な坂出市に到着した際は、市長をはじめ坂出白峰L.Cとたくさんの地元のクラブの皆さんに出迎えていただき、おいしいどんもご馳走になった。

さて、最終日の12月29日午後12時18分ほぼ予定通りに、心地良い汗をかき174kmを走破し高松市役所にゴールした。私と自転車の雄飛を市内11クラブのメンバーの方々、先に着いた伴走車の当成田平成L.CのL池田、そして私の家族が心強い拍手で迎えてくれた。なぜか、ゴールが近くなったり応援者がいると、ピッチも速くなり快感にひたってしまう私なのであった。

その夜、高松東L.C細井会長には、おいしいフグをたくさんご馳走になり、また大変有意義な時を過ごした。

今回もまたチャリティーラン委員長のL村木と会長のL谷には、心温まる応援をしていただいた。今回、谷会長には雄飛と自転車で伴走をしていただき、常に心強い見方となってくれた。何と言っても走りながら話が出来るのがよい。エネルギーな彼は常に走行距離や時速などの情報を提供してくれ、安心感のあるランであった。雄飛は途中2回もの長い坂道に逢い、ゆでダコのようになりながらも人の手を借りず、懸命にペダルを踏み続けた。それは彼にとって良い思い出になったであろう。L松岡とL池田には、出発とゴール時のセレモニーでスピーチなどもしていただき、チャリティーランが着々と進んでいる充実感が感じられた。

「走っている時は何を考えているのか」と尋ねられる事があるが、まず最初にゴールまで後何キロまたは何時間、走るコース取り、景色や店、看板、きれいな女性（振り返って見る時もある）などなどである。この中でも、コース取りには一番気を使う。長い距離を走っていると膝に損傷を受けるため、なるべくダメージ

Lions Club

活動レポート

のかからない平らな所を走るように努める。本当は歩道が安全のだが、段差がある場合が多い。道路の端を走ると白線より歩道側は斜面になっており、そこを走ると足の故障の原因となる為、危険ではあるが道路端の白線上や長い歩道を選び走っている。足の話になると忘れられないのが靴である。長距離を走るにはそれに合った靴を使用しないと大変な事になるが幸い、服部、木村、小林、L十九浦に頂いたすばらしい靴で、沖縄、九州、四国を完走できた。これからは様々なドラマを楽しみ、生命ある限り走り続けたいと思っている。



第5回単独日本縦断チャリティーラン

日程表【4/30～5/6】

中国地方編 下関→広島 200km

日付	走行区間	走行距離	宿泊場所	応援者	人数
4/29(土)	下関着		下関グランドホテル 0832-31-5000 Single 2		
4/30(日)	下関市役所 (9:00AM) ↓ 山陽町役場 (12:20PM)	予定: 33km 実走: 所時:	ホテル サンヨー 0836-72-2100 Single 2	L 谷 洋	1
5/1(月)	山陽町役場 (9:00AM) ↓ 小郡町役場 (11:20PM)	予定: 22km 実走: 所時:	山ログランドホテル 0836-73-2100 Single 2	L 谷 洋	1
5/2(火)	小郡町役場 (9:00AM) ↓ 防府市役所 (9:00AM→)	予定: 22km 実走: 所時:	タカラヤ 0835-22-1561 Single 2	L 池田忠彦	1
5/3(水)	防府市役所 (9:00AM→) 新南陽市→ 徳山市役所 (12:00PM)	予定: 30km 実走: 所時:	丸福ホテル 0834-32-5000 Single 2	L 村木 宣夫	1
5/4(木)	徳山市役所 (9:00AM) 下松市→熊毛町→ 周東町役場 (12:00AM)	予定: 30km 実走: 所時:	佐伯屋ホテル 0827-84-1251 Single 2	L 村木 宣夫	1
5/5(金)	周東町役場 (9:00AM) → 岩国市→ 大竹市役所 (11:30PM)	予定: 26km 実走: 所時:	ゴウスイホテル 08275-3-1771 Single 1	L 安齊 達夫 // 和子 成毛 久子	3
5/6(土)	大竹市役所 (9:00AM) → 廿日市市→ 広島市役所 (13:00PM)	予定: 38km 実走: 所時:	広島着後 東京へ	L 安齊 達夫 // 和子 成毛 久子	3

Lions 活動レポート LC Club

柏グリーンライオンズクラブ 柏グリーンLC結成15周年を祝う

L 辻 松夫 寄稿

優秀なクラブとして表彰を受け、年間の金銭ACT500万円、労力ACT2,000時間を越え、地区でも優秀な柏オークライオンズクラブを結成し、更にライオンズムの輪を広げ、全国的な組織であるグリーン盟友に加盟し、松戸中央ライオンズクラブ、グアムマリアナスライオンズクラブとの姉妹締結もしております。



柏市役所に花時計の寄贈

柏グリーンLC (333-C 2R2Z) 会長L坂巻眞一クラブメンバー72名の結成15周年を祝う記念式典が去る2月13日柏玉姫殿会場で行われた。

江畑耕作ガバナー、本多晃市長をはじめ、キャビネット役員、ブラザークラブ、ライオンレディー359名のご来賓多数の出席のもとに盛大かつ厳粛に式典が開催された。

1980年5月10日に日本で2,428番目、千葉県で67番目、柏市で3番目のライオンズクラブとして結成されました。スポンサークラブは、柏中央ライオンズクラブの熱心なご指導によって地区の

今回のCNには会長L坂巻眞一、実行委員長L塚田裕也をはじめ、柏グリーンライオンズクラブ全メンバーの協力と努力により式典を成功に導いたものと思います。

15周年を契機に地域社会はもとより、国際社会に奉仕活動と日に日に精進を重ね、クラブの発展に努力して参りたいと存じます。

結成15周年記念事業



L坂巻眞一会長の挨拶

ACTIVITY

1. 記念事業資金獲得チャリティーゴルフ大会
2. 夏期YE生派遣 1名 冬期YE生派遣 3名
夏期YE生受入 1名 冬期YE生派遣 1名
3. オータムチャリティーコンサート (合同)
4. 柏市制40周年記念柏市役所に花時計の寄贈
5. LCIF 1,000ドル献金 (15名)
6. 阪神大震災被災地に義援金を贈る
総額1,100万円



記念事業総額1千1百万円のプラカード

Lions 活動レポート LC Club

海上LC結成経過報告

飯岡ライオンズクラブEXT委員会

海上町に愈々ライオンズの灯が…海上ライオンズクラブが誕生いたしました。海上町は人口11200人歴史的に深く古い町です。そして飯岡町とはその昔より因縁の深い関係の隣接地です。私共飯岡LCでは数年前より海上町にライオンズクラブのEXT念願しておりました。折しも旭LC所属のL江畑耕作が本年度地区ガバナーに就任し旭キャビネットが設立。これを契機に海上町へのEXTが現実となって来ました。ちなみに地区ガバナーL江畑は海上町に生れ育ち現在も在住しております。以下結成まで経過を報告します。

◎94年9月12日以降歴代会長経験者会議を数回開催しEXTを決定、クラブ例会の承認を得てその活動を開始。

◎94年10月3日HEXT委員会(歴代会長経験者12名)を編成、次いでかねて海上町よりの飯岡LCメンバーである7名旭LCの3名干潟LCの1名計11名の海上町在住会員と新しくらぶ結成の合意。結成準備委員会を編成する。

◎旭LC、干潟LCEXT協力要請

◎94年12月9日入会勧誘方法、目標等の決定確認入会募集を開始

◎94年12月13日海上町行政、各種団体へ結成のご挨拶をする

◎94年12月27日入会予定者の状況報告入会招請強化を再確認



◎95年1月28日地区EXT委員長、副委員長、飯岡LC三役、EXT委員会、準備委員会、入会予定者全員にて結成説明会実施

◎95年2月6日入会予定者数44名(転籍予定者10名含む)に決定

◎95年2月10日海上LC創立予定者が飯岡LCの例会見学 後結成要項、初代役員委員会編成等を協議承認

◎95.2.21ガバナー事務局へ結成報告

◎95.2.25松戸グリーンLC結成式見学 以上で報告を終わります。

本結成に関しては地区ガバナーまを始めガバナー事務局・旭LC皆様方大変ご心配ご配慮を戴き誠にありがとうございました。特に地区EXT委員長のL芳野には格別のご配慮ご指導を賜り心から厚くお礼申し上げます。

最後になりますが海上ライオンズクラブのご発展を申し上げ新メンバー各位の健斗をお祈り申し上げます。



新クラブ結成を祝って、ガバナー挨拶



スポンサーC 飯岡LCより、クラブ用品贈呈

Lions 活動レポート LC Club

千葉中央ライオンズクラブ 30周年

“限りなく前進あれ 人々の理解を望んで”

4月9日(旧統一地方選挙の日)に千葉中央クラブの結成30周年記念式典が行われた。このクラブが過去30年間歩んできた多彩なクラブ活動の姿に、この日遠く海外より又県内外からも沢山の同士が集まって、心から式典を祝福すると同時に、盛大な称賛の拍手を浴びせた。

この日県の教育会館で本日の主要テーマである講演を行い、県立女子高校の合唱、海上自衛隊音楽隊の心温まるアトラクション演奏に集まった人たちの心を十分に堪能させた。

講演は平和共存のための『異文化理解と青少年教育』と題して日赤近衛副社長の講演が聴衆に多大の感銘を与えた。この講演一つとっても周年行事の意義は極めて大きい。このクラブは多彩な人材を多数擁し常に創造的なアクティビティ、国際交流、クラブ運営等画期的な面を覗かせることは多くのライオンズマンの刮目に値しよう。

この日の記念事業資金の合計は800万円、ACTの主要なものは、記念文化講演、精神薄弱者更生施設支援、阪神大震災義援金、日本網膜色素変性症協会支援、姉妹都市交換学生・ガールスカウト・海洋少年団等支援、スリランカの幼児教育、社会環境整備支援等々の広範多岐な方面に及んでいる。

かくして第三部としてサンガーデンにおけるパーティは和やかなうちにも豪華な食卓に満足して散会した。林実行委員長以下関係者はさぞ大変だったろうと想像する。



創造性に富んだまち 『姉崎』に新しいクラブが



4月7日キャビネット事務局で地区エクステンション委員長L芳野幸男を囲んで第五リジョン、チェアマンL中村新一郎、市原エクステンション委員長L庄司辰二郎、委員L吉田紀雄(前幹事)、PR情報委員L高岩正美、らが集まってきた。約1時間余りみんな和気藹藹裡に状況説明を受けた。続いて結成での段取りの協議に入った。ここまでの経過は昨年8月3日の時と全く同じだ。それもその筈同一人が本年度二つ目のエクステンションを手掛けているのだ。話を聞いていてその行動力、統率力の素晴らしさとその努力にはほとんど関心した。ライオンズクラブにとって最大のアクティビティであるエクステンションを年間二つも成功させることは至難中の至難といっても過言ではない。クラブ結成は時間の問題である。それだけに称賛の言葉がない。

新しいクラブは市原市にとって市の中心地である五井地区に次いでにぎわいを極める姉崎地区である。ここ姉崎は古墳群に囲まれ歴史的に言っても貴重な遺産に恵まれ、臨海部は石油化学コンビナートが操業されその中心地でもある。名称は市原中央LC、例会場は姉崎の『淡粋』に置く。現在会員数は30名以上を数える。

Lions 活動レポート Club

袖ヶ浦ライオンズクラブ 阪神大震災への 義援金募金を!!



1月17日の阪神大震災の発生から、10日目の1月16日袖ヶ浦ライオンズクラブでは、JR長浦駅前ダイエー店頭において、阪神大震災義援金募金を行いました。

この地震の初動体制の不備など多くの分野での教訓と反省が指摘された災害でした。しかし、街角での募金では、多くの人々が駆けつけ支援の輪が広がった。

テレビで被災者の一人が、感謝の言葉を述べていた。「日本も捨てたものではない」と……

もちろんそうだ。ライオンズクラブも捨てたものではない。



船橋ライオンズクラブ 大災害に備えての提言

佐土 一正

態勢の整備

- ①被災地に一番近いクラブは、災害対策本部を設置、現地情報を刻々と上部団体に報告
- ②本部には、クラブ員の事業別のリストを備え必要な物資等は、災害地近くの会員企業からすぐ調達できるようにしておく。
- ③交通まひを予測しヘリ会社と契約
- ④被災会員の事業再開のため、同業の全国会員に呼掛けて機材の貸与・人的応援を直ちに行う。交通費その他の費用は本部が負担、人件費はボランティアとする。
- ⑤5復興の遅れそうな会員企業の従業員は同業の会員企業が一時預かり、再開のときに元の職場に戻るよう配慮する。例え

ば飲食店経営の会員には各地の同業が食材・調理人などを提供して再開を助ける。クリーニング店には機材の貸しだし職人の応援。メガネ店には販売めがねの融通・技術者の派遣等。

⑥見舞金、事業資金の無利子融資

we Serve!より全会員16万9千人が一人1万円の拠出で16億9千万円のファンドを創る。

⑦会員企業の立ち直りと共に近隣の被災住民のための各種の支援を行う

⑧家族のホームステイの受け入れ。

事業効果

全国的な話題とし報道される。PRIはしていただくのではなく、させてあげることが100倍の効果がある。そんなライオンズに是非入会したいという希望者が多数でることになる「会員になってもらう」のではなく、会員として認める本来の立場に戻ろう。

将来は外国の災害にも対応することにより、日本ライオンズの目に見える生きた事業になると思われる。

Lions 活動レポート LC Club

松戸ユウカリライオンズクラブ

JR北小金駅前に歩行者通路を造る

会長 鈴木 泉

水戸街道の宿場町として由緒ある小金の街もJR北小金駅前再開発事業の完成によって見違えるほどの近代都市に生れ変わった。

久しぶりに当地を訪れる遠来の人達は、その変貌ぶりに一瞬、降り違えたかと思う様でございます。私達ユウカリLCもこの完成を祝って「今期記念事業」はここに時計若しくは標語塔の建設と当初計画していました。然し、制約の多い中で行う再開発事業には又、いろいろな無理も生じる様でございます。この工事の竣工間際まで従来の道路を利用して通勤・通学していた駅東方面からの通行者が完成によって左へ一度迂回してから駅に向かう形になってしまいました。



「ふれあいの小道」渡り初め

一分でも時間を惜しむ皆さんは、たまたま従来の道路に隣接する形で出来た大正堂ビル屋外業務用通路を利用して通行する様な状態となり、これに疑問を感じた地域住民の声が、改良を願う陳情となって市役所へ集まりました。市役所担当課では、大事業を完成させて、ほっとしている所へこの陳情を受け困っている様子でした。

丁度そこへ我がクラブより標語塔建設の申し入れが有り「ユウカリLCさんが折角お遣りになるのでしたら標語塔より今、陳情の出ている歩行者通路の建設は如何でしょう」との相談になった。

これを受けた記念事業委員会が、早速クラブ理事会に計ったところ、道路建設は、LCの事業としては少し違うなど大分戸惑いが有りました。

然し、市民よりそんなに陳情の有るものなら「WE SERVE」の精神で遣ろうじゃないかと判断が一致し、早速実現に向けての活動に入った。

9月初旬より準備して10月20日竣工と誠に慌ただしい事業となりましたが、10月26日が我がクラブのC.N記念日で有り、この日に開通式を行いたく日にちを合せて完成させたのが本音であります。

これを今期クラブスローガン「心と心のふれあう奉仕」より「ふれあいの小道」と名付けて開通式となった。当日は心配された雨も無く、市役所関係及び地域町会長等とクラブメンバー多数参加のもとにテープカットを行い、この日の為に特別イベントとして用意した「L並木家×四代の渡り初め」が各新聞社・市役所広報課のフラッシュの中堂々といわれ見事な開通式となった。その後新聞にも報道され又市民にも大変感謝され地味ながら社会に喜ばれる本当に良い事業が出来たとメンバー全員いま誇りに思っています。

そして何よりも嬉しかったのは並木家のお年寄り夫婦が「家の伴も良い親孝行をしてくれたよ、冥土の土産話しが出来たよ」と喜んでいと伝え聞いたときであります。

最後に事業達成にご協力頂きました関係各位に心より厚くお礼申し上げます。



「ふれあいの小道」開通式典

Lions 活動レポート LC Club

松戸南ライオンズクラブ

松戸市社会福祉基金 チャリティーゴルフ大会

会長 L 笹岡 嘉治



松戸南LCでは、3年目を迎え、本年度最大の奉仕活動として、松戸市の社会福祉基金へのチャリティー資金獲得を目的とした、ゴルフ大会を去る10月7日、中山カントリークラブで行いました。

当日は天候にめぐまれ、50組のパーティーが、元気に18ホールプレーをし、大盛況のもと終了することができました。

大勢の方々の参加をいただいたお陰で、チャリティーゴルフの当初の目標を達成し、その基金を有意義に活用させて頂く事が出来ました。

関宿ライオンズクラブ

町長も献腎、献眼に協力



町民体育祭が関宿町主催で曇天の中、町立二川中学校運動場で開催された。関宿ライオンズクラブでは、場内受付た、前回に続

き多数の方々が登録し、献腎四十三名、献眼四十五名が受付登録した。

登録された方の中には、町長はじめ町議会議員各地区長の皆様が快く進んで登録受付した。

受付登録を済まされた方には、ライオンズ農園で収穫した、ジャガイモと関宿ライオンズノートを贈呈した。

このあとメンバー全員で日光街道東往還の松並木（三年前クラブで植樹）の手入れを行った。又道端のごみを拾い、町のクリーン作戦に一役をかった。

栗源ライオンズクラブ

小学生保育園児童の手で、 錦鯉、真鯉の放流

小学生保育園児童の手で、錦鯉、真鯉の放流を始めて5年になります。最初の1カ年位は、1.5ミリ〜2ミリ位の沈む餌を与えました。外に栗源町特産のベニコマチ、ベニアズマを蒸かして、小さくちぎって与え、残パンも好物です。手をたたいて寄って来る迄に慣れたのは3カ年が過ぎてからです。人影が水辺に近づく水面から背鰭を出して、僕はここにいる餌を投げてくれとたちまち数10匹が集まって来ます。餌を投げると頭を3分1位出して大きく口を開いたままで餌を食べ続ける。

この様子はグッドスタンデー。鯉が人を信頼してる時誰かツリでもやると、数日は川底にもぐって姿を消す餌を投げると数メートル流れてから、パクンと1粒飲みこみ尾で水音をたて、再びもぐってしまう。

近頃は大勢の愛好家に見守られたお陰で、何時でも川岸を歩くと、錦鯉、真鯉がついて来ます。



Lions Club

活動レポート

八日市場ライオンズクラブ 台湾ホームステイと 体験学習

国際平和ポスター展クラブ内コンテスト会長賞のうち代表5名

八日市場ライオンズクラブは、国際平和ポスターコンテストに第2回から毎年応募しております。

今回は「ピース・イン・マイ・ワールド」をテーマに地域内12の小学校から349点の出品がありました。

国際協会が提唱する「子供達に平和について考えるきっかけを与え、子供達から見た平和を共有することで地域社会との絆を深めよう。」の目的を更に一步具体的な形での事業として、クラブ内コンテスト会長賞12名から5名を選抜し、ピース・ミッションとして中華民国への派遣を企画、実践して3年になります。

13年来の友好クラブであります台北市龍山獅子會、鳳徳獅子會が国境を越えて、相互理解の精神のもとにこの事業を「合同アクティビティ」と位置ずけて惜しみない援助と協力をしてくれました。

この合同ACTは330-A地区では最も高い評価を得ているそうです。

4泊5日の日程で行われ、2日間を老松國民小學校(廖文隆校長)へ短期入学して通常のカリキュラムに従って同じ教室で共に学びお互いを努力したと思います。2泊を獅子會メンバー宅に一人づつホームステイしました。心細いながらも台湾の家庭の雰囲気と接することが出来たと思います。

全員が12才で親から離れての外国は始めてで、言葉の違いから学校・家庭・町の様子など緊張の体験で、心に残る



ものが数多くあった様です。

派遣生の一人は「この体験学習は、これからの私にとって大きな影響を与えてくれました。」と喜びを語りました。4年・5年と続けますと25名の子供達が参加したことになり、初年度の派遣生は16才になります。

YEプログラムへの積極的な参加を呼びかけたいと思います。



素晴らしいマレーシア

飯島 水穂 (SP.C成田平成LC)



1994 冬期YE生 派遣報告

4.

1994年冬期のYE派遣生の報告を、
前号に引続き掲載します。
YE活動による貴重な体験がこれからの
将来に有形無形の財産として残り、
大きく役立つことと思います。
以下レポートを掲載します。

今回、私はライオンズクラブの交換留学生としてマレーシアへ行き、そこで約2週間半、マレーシアの文化や生活にふれてきました。

マレーシアに着いた時、とても暑いので自分は異国にいるんだと実感しました。それと同時に、これからのマレーシアでの生活に不安を抱きました。

空港でホストファミリーを待っている時もずっと緊張気味で、ほとんど黙ってしまいました。けれども、ホストファミリーの人たちは皆とても親切に接してくれたので、すぐに溶け込む事ができました。毎日が楽しくて、1日がこんなに早く過ぎるのかと思っただけです。日本であれば、なんとも思わないゲームやショッピングも、マレーシアではとても新鮮に感じ、いろいろと勉強になりました。

ちょうど日本が恋しくなった時、ジョーと言う子の友達が日本料理を食べさせてくれました。その時異様にうれしくなり、もう日本に帰ったら贅沢は言っていられないと心の底から思いました。

セカンドハウスでは、私は寺地ひとみさんと一緒でした。そこに移って2日目に、家の近くにある丘に登ったのですが、やたらと「日本人、日本人」と言われ、少々緊張したのを覚えています。

大晦日には、ライオンズクラブの例会があり、カラオケボックスで年を越すということになりました。歌えない歌も緊張気味に歌い、英語でのスピーチも終わりほっとしたところで食べたあのしょっぱいケーキも今となっては良い思い出です。もちろん他にも良い思い出はたくさんあります。その中でも、貴重な体験はラバの木を見に行った事と、パームオイル工場を見学させてもらった事が印象深く感じました。ラバの木は削るとすぐに白いゴムの液が流れてきて、下に付いているガラスの入れ物に入って行きます。そして、それを加工して輸出するのです。

パームヤシも、スチームで蒸して潰して搾ったものを綺麗にし

て輸出するという事でした。工場の人は、それを説明するのに何度目何度目と同じ事を繰り返してくれました。私が理解できたのは、説明してくれた中のほんの一部に過ぎないと思います。この時以外でも、もっと英語を勉強しておけばと思った事がたくさんありました。

私は、ホストファミリーの方々に「2年後にまた来ます」という約束をしてマレーシアを後にしました。

今回のマレーシアでの貴重な体験は一生心に残るものだと思います。そして「マレーシアに沢山の友達を作る」という目的も達成できました。

このような機会を与えて下さった両親と、ライオンズクラブの皆様様に心から感謝いたします。向こうでの生活は、決して忘れる事なく、そしてそれらの体験を日本でおいに生かしたいと思っています。

malaysian

父は、涙を流しながらスピーチしてくれた

寺地 仁美 (SP.C四街道LC)



私は、12月21日から1月6日の約2週間マレーシアの文化、生活にふれてきました。

1stFostFamilyはおくさんが働きに行っていて2月までかえってこないということなので一緒におじさんと料理をつくりました。カレーライス、スープ、野菜いため…いろいろなマレーシアの料理をつくりました。食べ物とはにかくからくて食べられないものもたくさんあり苦労しました。フルーツはたくさんありました。ドリアンは2度Tryしましたがだめでした。マンゴスティーン、ランブタン…などはおいしくたべることができました。

1stFamilyの女の子の学校にも1日行きました。日本とちがって教科によって授業時間がちがうことにもおどろきました。

その他マラッカ、ケーフ、Shopping…などいろいろな場所につれていってもらいました。12月24日に去年日本に来た男の人と会いました。二度と会うことはないと思っていたのでうれしかったです。その人とはMusiumに行きました。

マレーシアの文化などを学びました。マレーシアの歌なども教えてもらいました。1番1stFost familyで思い出にのこっていることはラジオにでたことです。お父さんの会社に見学に行った時にマレー語を覚えてもらいマレーシアの感想などはなしました。ニュースキャスターの人とも写真をとりました。はじめての経験だったので思い出にのこりました。

2ndFostFamilyでは私ともう1人の女の子2人でした。1人より2人のほうが心強かったです。

はじめの2日はなれなくて毎日が長く感じましたが、だんだんと仲よくなりました。その家の男の子とその妹と男の子の友達で山登りもしました。とても高い山なのでつかれました。クワンタラバ工場やオイル工場などつれていってもらいました。ラバ工場はシーツ、ゴムなどの原料になるものです。木から白い液をとり出してそれにアンモニアを加えてできるそうです。オイル工場ではオイルができるまでのしくみを勉強しました。

2nd familyとはとても仲良くなりました。お父さんとお母さんがはじめてであった頃の事などはなしてくれました。その他普段めったに耳にしない宗教の話もきかせてくれました。

1番印象に残っているといえば2日の夜のライオンズのDinner Partyです。お父さんは“あの子達をうけいれて本当によかった”と涙を流しながらSpeechしてくれた事でした。

帰る日(6日)も空港まで車で4時間かけて家族みんなで見送りに来てくれました。女の子もお母さんも泣きながら手をふっていました。言葉は通じなくても1週間しかその家族と生活していないのに、こんなにも分かりあえるなんておどろきました。“又必ずおいで”と言ってくれました。

本当にみんな親切でした。もう1度行きたいです。今度はもっと英語力をみにつけてから…

今年の12月に2ndfamilyの男の子が日本に来るので楽しみです。マレーシアへ行ってよかった…と思っています。

ありがとうございます。

new zealand

ニュージーランドーは、すぐ身近になった

飯沼 友美 (SP.C館山LC)

本当に何から書き始めたらよいかわからなくなるくらい毎日が驚きと感動の連続で、また、たくさんの人々との出会いの毎日でもありました。

私がステイした街は、ニュージーランドでもっとも大きい湖、タウポ湖があるタウポというところでした。ステイ先のジョイスとグライアムの家はこの湖から車で2分という近さで、また、グライアムは、クルーザーをもっていて、私も何度かこの船でタウポ湖を遊覧しました。ジョイスとグライアムは、とてもやさしい人で私をあたたく迎え入れてくれました。ある日の晩にリビン



グループでジョイスとグライアムに、「あなたは私達の日本の孫だよ。」と言ってくれた時にはたいへん感動し、またよりいっそう交流が深まりました。

ニュージーランドの人々は本当に親切で、N. Z. 派遣の中から2人程、タウポにステイしていた子がいたので、何度かお互いのステイ先を訪れたり、また、いろいろ観光に連れていってくれたり、ホストファミリー同様、大変お世話になりました。この派遣期間がクリスマスとお正月にあっていたので、年の一度のビックイベントのクリスマスデイには、300km程離れたニュープリマスという所に行き、クリスマスデイを迎え、そして新年、1995年、1月1日は、ダウンタウンに行き、たくさんの人達とカウントダウンをしました。ステイ先ではきどらず、ありのままの生活だったので、私もどっぷりとニュージーランドの日常生活にすることができ、たいへん貴重な体験をしたと思っています。その生活の中で始めは、言いたいことが言えないがゆさもどかしさを何度も味わいながらも、しだいに言えるようになり、またホストファミリー同様お世話になったピーターとフェイそしてホストファミリーのジョイスとグライアムとの会話もやっと成り立つようになってきた頃、別れが訪れました。空港に送ってくれた車の中では笑顔だった私も別れが近くなると同時に涙があふれだし、最後の別れをしました。「トモとはいつでもコンタクトをとれるよ。もし、日本にいく時がきたら、トモの家にも行くからね。」と言い、プレゼントを渡されました。今、日本に帰ってきて感じることは、今まで、遠く遠く感じていたニュージーランドが、今では、私のすぐ身近なものになったということです。これからもホストファミリーのジョイスとグライアム、また、大変お世話になった、ピーターとフェイとは、コンタクトをとっていつもりです。

れ alaysian

**早く海外に目を向け、
英語を勉強していれば**

脇 陽一 (SP.C大網白里LC)

今回の十七日間の海外派遣で、私はとても貴重な体験をすることができました。最初のホストファミリーでは、不安が大きく初

めのうちは緊張していましたが、暖かいファミリーに次第に打ち解けることができました。

又、北海道からの派遣生と一緒にだったので特に楽しく過ごすことができました。

セカンドファミリーでは、自分の希望する国立博物館や国家記念碑など数多く案内してくれて大変感謝いたしました。細かいところまでいろいろと気遣ってくれて、心からうれしく思いました。

今、思うことはもっと早くから海外に目を向けて、英語を勉強していれば、もっともっと楽しい生活がおくれたかもしれないと、少し残念に思いました。マレーシアは、自分が想像していたよりすばらしい国でした。是非もう一度行ってみたいと思いました。



れ alaysian

マレーシア大好き

川島美知子 (SP.C大網白里LC)

もうすぐマレーシアへ出発という12月。ホームステイのための準備だけで慌てていたのに、私の通っている高校では、テストなどもあり、あれもしなくてはいけない、これももしなくてはいけないと、とても忙しい毎日が続き、「もしも、マレーシアへ行くことが決まっていなかったら、このような大変な思いをしなくて良かったのに。」などと思ってしまったこともあった。でも17日間のホームステイを終えた今、行かないほうが良かったとは、少しも思っていない。

12月21日、マレーシアへ出発の日。私はまだ、これから外国で生活していくということがなんとなく信じられなかった。しかし、飛行機の中でだんだんと時間がたっていくにつれて、これからは、あまり得意でもない英語しか使えなくなるのだとか、ホームシックにかかったりしないか、などと、いろんなことを考え始め、少し不安にもなってしまったのを覚えている。

ファーストホストは、2人の子供のいる4人家族だった。私と年齢の近い15才の女の子とは一緒に学校に通った。その学校では、日本の学校の様子と異なることが多く、驚くことばかりだった。制服は多民族国家のマレーシアらしく、宗教に合わせて何種類かあったし、先生がたもそれぞれ違った民族衣装を着ていた。授業



中は、みんな自分から進んで発表や質問をどんどんしていて、もちろん眠っている人など一人もいなかった。

セカンドホストの家は、毎日お客さんが来る、とてもにぎやかな家庭だった。そして私はいつもいろいろな所へ遊びに連れて行ってもらった。なかでもお寺は、赤や黄など、鮮やかな色で覆われていて、とても美しいものだった。

どちらの家庭に滞在させていただいている間も、優しいホストファミリーのお陰で毎日本当に楽しく過ごすことができ、つまらないなどと思ったことは一度もないぐらい、充実していた。

1月6日、日本へ帰国する日。前の夜にホストファミリーへのお礼の言葉を考え、練習していたのに、私は感謝の気持ちがいっぱい涙が止まらず、きちんとお礼も言えなかった。

日本に帰ってきた今、私が一番おもっているのは、もっともっと英語を勉強しようということだ。マレーシアにいる間、言いたいことはたくさんあっても、私の英語力がたりないために、うまく伝えられないことが何回もあったからだ。そして、必ずまたマレーシアへホストファミリーに会いに行こうと思う。

17日間はあるという間に過ぎてしまったが、その間に数えきれないほどの素晴らしい思い出ができた。このような経験ができた私は本当に幸せだ。マレーシア大好き。

Australia

船橋中央 ライオンズクラブの皆さんへ

Sarah Kate Wellington

日本では大変お世話になりました。特に遠藤さんには、私を受け入れてくれてありがとうございます。皆さんは私を家族の一員として迎えてくれて親切にしてくれました。

日本にいる間はとても楽しくいつかまたきたいと思ってます。日本はきれいな国ですね。京都を訪ねた時に見た美しい神社、お寺そして庭園はとてもすばらしかったです。その他にも遊園地、電車や新幹線での旅、日本の食べ物を料理したこと、茶道、その他の文化的な活動、日本の家での生活、日本語に挑戦したこと、日本の学校を訪ねたことその他たくさんのすばらしい経験を持ったことは幸せなことです。ライオンズクラブが皆さんなりに他の国からの人達を喜んでホストするというのはとてもいい事だと思います。私を日本へ行かせてくれてありがとうございます。どうもありがとうございました。

Malaysian

日本は寒かったが、 心はとてもあたたかった

Doreen Yeap



日本のライオンズクラブの皆さんありがとうございます。私は日本にこれとてもうれしかったです。日本は寒かったです。でも心はとてもあたたかかった。めずらしい食物やいろいろな所をみせていただきました。お正月にはお雑煮をたべおせち料理をいただきました。私はおいしいといってたべました。「何でもたべてえらいね」といわれました。「えらい」ということばがはじめてはわかりませんでした。さいしょのホストファミリーの佐久間さんにディズニーランドや浅草や成田山や秋葉原、浅草橋や幕張メツ

1994 冬期来日生 記録報告

冬期YE派遣生報告に続き、
来日生の報告を掲載します。

せや京葉コンビナートや鹿島コンビナートや香取神宮につれてい
ていただきました。幕張メッセでは有名な国際展覧会をやってい
ました。寺と神社ふたつはちがうものを祈願するところです。鳥
居は神社の象徴です。浅草橋は人形で有名な所です。私もたく
さんの種類の日本人形特別なひな人形をみました。ワープロも勉強
しました。私は日本の先進工業地域を勉強しました。佐久間夫婦
はたくさん日本の言葉と料理と文化と習慣を教えてくださいました。
つぎのホストファミリーの角河さんに蔵王スキーに連れていって
もらいました。はじめてみる雪はとて白く、さむおどろきま
した。風景はほんとうにきれいでした。スキーもすこしすべれる
ようになりました。夜露天風呂にはいりました。あつかったです。
おもしろかったです。星がきれいでした。東京タワー、都庁ビル
にのぼりました。富士山がみえました。またまたきれいでした。
鎌倉へ行きました。寺、神社をたくさんハイキングしてみました。
大仏もみました。銭洗弁天でお金を洗いました。これで私はお金
持ちになるでしょう！おいしいものをたべにいろいろつれてい
てもらいました。パーティーも何回もしてもらって。またおし
いものをたべました。炉端焼きもごちそうになりました。うれし
かったです。きっとマレーシアに帰ったら太るでしょう。日本の
ホームスティの時はじめてのことばかりです。地震もおどろき
ました。まきすしもつくりおぼえました。たまごやきやほうれん
そうのごまあえもおぼえました。ほかにもいろいろおぼえました。
八街ライオンズ、大綱白里ライオンズの皆さんたくさんの思い出
ありがとうございます。たくさんのプレゼントありがとうございました。日本でのHome Stayはたくさん初めてのことを体験しま
した。

また角河さん、佐久間さんに将来あいにきます。私のお世話と
御招待どうもありがとうございました。

ね alaysian

日本は、豊富な興味深い面を 持った国

Sharon Low Bee Luan

YE生として日本へ来る前、クアラルンプールライオンズクラブ
から、どの国を希望するかと聞かれ、しばらくは決めかねていま
した。そして私は日本を選びました。

当初は、日本は他の国々とは全く異なった文化や伝統を持って
いるように思い、彼等の生活様式に適應できるかどうか不安でし
た。しかし、今では、日本を選んで本当によかったと思っています。
私にとって、日本は人々や日常生活において豊富な興味深い
面を持っている国です。

こちらに滞在したのはほんの3週間でしたが、皇居や明治神宮、
浅草、葛西臨海公園、千葉ポートタワー、東京タワー、恵比寿ガ
デンプレス、成田国際文化センター、東京ディズニーランドなど
のとても素晴らしい場所へ行きました。中でも成田国際文化セン



ターにおいては、着物の着付けや琴、和紙の人形づくりなどを教
わり、また和やかにお茶をたしなむ方法一茶道一は、最も印象深
く素晴らしい経験でした。そして、習志野市で有名な谷津干潟に
行き、様々な種類の鳥の数の多さに驚きました。家族の皆さんと
夜に外出することもしばしばありましたが、夜の街はとても奇麗
でした。東京ではたくさんの高層ビルのイルミネーションが輝い
ていました。その他、室内スキー場“ザウス”に行きました。雪
を見たのはこの時が初めてで、大変気に入りました。スキーは難
しいですね。初めから終りまで転んでばかりいて、その後3日位
は体が痛みましたが、素晴らしい時を過ごしました。そういえば、
ある晩私がhost sisterと一緒にいた時、家が揺れました。それか
ら彼女はそれが軽い地震であることを言いました。私は驚きまし
た。私の住んでいる国ではこのような自然災害がありませんので
地震を経験したのは初めてでした。この夜は忘れられない思い出
として残るでしょう。

日本に着いてから、私は多くの暖かい笑顔で迎えられました。
初めて会う人にも良くしていただき、大変快く過ごせましたし、
日本で違和感を感じたことはありませんでした。日本の人々は、
とても素晴らしく、親しみやすいと思います。日本人を一言で表
現すれば、“丁寧”という言葉がぴったりでしょう。

私のホストファミリーは矢崎さん一家でした。皆さんには大変
良くしていただき、私に対して本当の家族の一員のように接して
くれました。このような素晴らしい家庭に滞在することができ、
楽しい時を過ごせたことはとてもうれしく、また幸運でした。お
母さんの料理は最高でした。いつも余すことなく食べ、太ってし
まったくらいですが、日本の料理がおいしいこともその理由の一
つでしょう。

この紙上をお借りして、お世話になった両親 (host parents)
と、様々な場所へ案内してくれた敦子さん、そしていつも楽しま
せてくれた姉の晴子さんに御礼を申し上げます。また、大変ご親
切にして頂いた (習志野中央ライオンズクラブの) 村田さんにも、

厚く御礼申し上げます。皆さんや日本のことを思うと寂しくなりますが、ここでの経験は一番の想いで深い出来事となるでしょう。これは（このような素晴らしい経験を得ることができたのも）ライオンズクラブのお蔭です。どうもありがとうございました。

Malaysian 日本で得た私の経験

Mak Khuin Weng

私が日本で経験したことはいろいろ興味深かったけれど全てそうとはいえませんでした。なぜならそれは成田空港へ着いた時の最初の印象が寒すぎたからです。マレーシアでは天気のことでも悩んだことはないのです。なぜならいつもあたたかいからです。でもここでは最も少ないときで5枚重ね着なくては家から出られませんでした。

成田空港に着くと私のホストファミリーである関口夫妻が喜んで迎えてくれました。彼らは空港で日本の伝統的な朝ごはんをごちそうしてくれました。それはごはん、みそ汁、さけ、のり、たまご焼きとあと私が見たことのない食べ物がいくつついてきました。食べ終わって思ったことはこれは全て食べられるものですか？です。許してください。だって僕は外国人です。日本の食べ物は私には変わった味で、たとえどうでも試みることはつらいことでした。それでもいくつかのものはおいしかったのですがのりとおさしみは食べられませんでした。

日本にいる間よく地下鉄に乗りました。これはとても能率的なものです。とはいえ日本語のわからない外国人にとってはむしろ不便なものです。私も降りる駅が聞きとれなくて苦労しました。もし1人で地下鉄に乗ったら自分が降りる駅さえわからないでしょう。

日本で最悪だった日は鎌倉へ行ったときでした。その日始まりはよかったのです。ただしそれもおみくじを引くまででした。それはこれから私の運勢がきまるというものでした。そう大凶を引いてしまったのです。それによると恋人とは別れ、試験もうまくいかない、あなたは将来に失望するでしょう…などなどでした。でもこれは今までのことについてだと思ったのです（まじめに）ところが実は来年のつまりこれからのことについてだということではないですか。（私が鎌倉へ行ったのは12月のことです）Ah！それからあとは不幸続きでした。めがねはこわすし、まるで影の中を歩いているようでした（僕はめがねがないとほとんど見えません）。そしてお風呂に入るのに2時間半も待たされたし（女の子が1人僕の前に入っていったから）

ディズニーランドへ行ったことは思い出深いことのひとつです。ビジョナリウム、カリブの海賊、ピーターパン空の旅（僕が一番好きなのはスペースマウンテンです）ディズニーランドの中で一番に思い出すのはオールドファッションバナナスプリットです。チョコレート、ストロベリー、バニラ各アイスクリームの上に生クリームとストロベリージャムとチョコチップがかかっている、

わきにバナナのスライスがあって一番上にチェリーが乗っている！神様！書いていただけでつばがわいてきます。

国際美術館へ行ったときもよかったです。僕が一番興味を持ったのは刀やよろいを展示してあるところです。

その他いったところは東京タワー、浅草、伊豆、高校生のフットボールの準決勝の試合です。全てはとても書ききれません。スペースもなくなってきたし…でも一つだけあげるとすればアニメショップへ行けたのが一番よかった。その店には2時間位いたかな。以上、もう一枚書こうかなあ…いややめよう。僕はなまけものだから。

Malaysian

楽しい時を 過ごすことができた

Ooi Su Guan



私の名前はOoi Su Guanです。私はライオンズクラブの国際青少年交流でマレーシアからやって参りました。この青少年プログラムの目的は国際的な相互理解にあります。私が日本に来たのは日本の文化や生活や信条を学ぶためです。反対にマレーシアの文化や生活をお伝えしたいと思っています。このようにして私達は相互の理解しあい、友情を確かめ、お互いに尊敬しあうことができるのではないかと考えています。

私は最初の2週間余りを柏ライオンズクラブの助川会長の所にホームステイしていました。それは12月中旬からクリスマスにかけてのことでしたので、多くのクリスマスパーティーに出席しました。助川さんのところにいる間、私は東京ディズニーランドに行きました。ここは私が子供の頃から来たい所でした。それから浅草や、鎌倉や、日光の徳川神社に行きました。日本は本当に美しい国で、きれいな色や文化につつまれています。木々は、茶色や赤や黄色や緑の色につつまれています。マレーシアでは木は緑と決まっています。このように伝統と近代生活が調和を持って隣り合う国は日本以外にないと思います。日本の食事でも経験しました。刺し身や、寿司を食べましたが、ワサビはだめでした。

多くのマレーシア人も生物を食べられたらよいのにと思いまし

た。その後、私は成田にきました。富里ライオンズクラブの菊地さんのところにホームステイしました。菊地さんの家族とお正月を東京で過しました。東京から横浜のチャイナタウンに行き、日系中国人の生活を見てきました。そしてあの有名な銀座通りや新宿にも行き中村屋でインドカレーを食べたところ、そのおいしさに驚きました。後楽園遊園地で遊びましたが、マレーシアにはあのような乗り物はありませんでした。秋葉原の電気街にも行き、コンピューターのソフトを買いました。富里ライオンズクラブメンバーの篠原さんと一緒に競馬に行ったり、山名さんにはゴルフの練習に行き、教えて頂きました。私は初めてのゴルフのクラブを振りましたがとても難しいと思いました。

最後に、私は日本で大変に楽しい時を過ごすことが出来て、感謝の気持ちで一杯です。どうも有り難うございました。

malaysian

沢山の思い出を、 友達に話すのが楽しみ

Olivia Lee Shien Hui



私の今回の日本滞在は本当に素晴らしい体験となり、私は今、沢山の美しい思い出を胸にマレーシアに帰ろうとしています。複数の家庭に滞在し、様々な素晴らしい経験をさせていただいたことも幸運でした。

その間、私は沢山の日本の生活様式に触れることができました。現代の競争社会において、働き蜂として知られているにもかかわらず、日本人が家庭を大切に、皆仲が良いのには感動しました。特に心に残っているのは、夕食のあと、おこたに入って家族みんなで楽しくおしゃべりしたこと、おいしいお寿司とお餅とおせんべいなどです。本当に楽しかったです。また、日本ではアイススケートとスキーも体験しました。特にスキーはとても気に入ったので、これからも続けたいのですが、万が一マレーシアに雪が降ればの話ですね。スキーは初めのうちはとても怖くて危険なスポーツに思えますが、基本的な動作をマスターしてしまえば全く

安全です。その中でも特に止まり方は大切ですよ！

ホストファミリーの皆さんには有名な観光地にも連れていっていただきました。横浜のランドマークタワーからはため息がでるほど美しい東京を見ることができましたし、浅草寺、成田山などの日本独自のお寺や、東京のおとぎの国、ディズニーランドに行けたこともとてもうれしかったです。そんな中、私は成田カルチャーセンターを訪れ、美しい着物を着たり、美しい音色のお琴に触ったり、生け花の文化を学んだりしました。このような、日本においても高く評価されている文化を体験できて、とてもうれしかったです。お茶会に関しては足がしびれてしびれて、ちょっと耐えられませんでしたけど…。また、日本の女性が若い学生でさえもすごいしびれにも耐えて、ずっと静かに座っていられるのには感動しました。でも、甘いお菓子や香りの良いお茶があるので、ちょっとくらい苦しくてもやりがいがありました。

私の日本での日々を楽しく素晴らしいものにしてくれたのは、あたたかくて優しいホストファミリーでした。皆さんは私を本当の娘のようにあたたかく受け入れてくれました。私は皆さんにとっても沢山のことを教わりましたし、とても大事にしてもらいました。私は皆さんのことが本当に大好きになり、さよならを言うのがとてもつらかったです。

成田空港で飛行機から最初の一步を踏み出した時のことを今でもハッキリと覚えています。私は日本語が全く駄目だったので、人に話かけられても何もわからず不安だったのですが、皆さんが暖かい笑顔で私を迎えてくれました。私はその時、「初めまして」としか言えませんでした。私の初めてのホストファザーは、とても上手に英語をしゃべる方で、私に沢山の日本語を教えて下さいました。その時から私の勉強は始まりました。会話は難しかったけれど、家族の皆さんとは、私達だけの特別な方法でコミュニケーションをとることができました。もちろん辞書のお世話にもなりましたが、このコミュニケーションを通して、私たちの間にはとてもかたい絆が生まれていきました。

私は家族の一員として扱われたおかげで、とても容易に日本の文化に順応し、理解することができました。例えば、恥ずかしくてどうしても入れなかった温泉のように、どうしてもできないことがある時でも、家族は理解してくれました。マレーシアの文化と日本の文化の違いがあっても、私達の関係はより親密なものになっていきました。(マレーシアでは入浴はプライベートな事柄と考えられています。) 実際、その違いのおかげで、私達はよりお互いを理解できたのだと思います。

私のホストファミリーの両親、兄弟、姉妹は、沢山の時間をさいて私と話をしてくれました。私はホストファミリーの中でも特に2つ3つしか年の違わない兄弟姉妹とはいろんな話をすることができました。彼らはいつでも私を自分達の日常生活の中で受け入れてくれました。成蹊大学、東京農業大学を訪れたこと、聖徳女子高校で日本の学校生活を体験できたことはとても幸運でした。

恐らく、日本での最も素晴らしく思い出深い経験の一つは、聖徳高校で6日間学生生活をしたことだと思います。学校の先生方



はとても親切で、私のための特別の時間割を組んで下さいました。そこで私は、柔道、音楽、ピアノ、美術、書道など、学生生活と日本文化に触れるべく様々な授業を受けました。どの科目もとても楽しかったのですが、中でも特に柔道と書道が気に入りました。また、専門家の先生方に教えていただいたのもとても幸運だったと思います、放課後もいろいろなクラブ活動に参加させてもらい、実際にやらせてもいただきました。バトン部や軟式テニス部の練習にも参加しましたし、有名な聖徳高校のブラスバンド部の演奏をさくこともできました。また、先生方とは話し合いの機会を持ち、世界情勢についての意見を交換しあったり、様々な文化を紹介しあったりしました。

本当に日本を立ち去りがたい気持ちでいっぱいなのですが、同時に私が日本で経験した沢山の思い出深い出来事をマレーシアの友達に話すのもとても楽しみです。ホステファミリーの皆さんは一人一人がとても素晴らしく、これからもずっと私の心の中で、特別な位置を占めることでしょう。私が日本で会った人々や作った友達のことは決して忘れません。彼らにはもう二度と会うことはできないかもしれないけれど、手紙でずっと連絡をとって行きたいと思います。

私は日本が大好きです。いつも地震の恐怖におびえていたけれど…。またいつかきっと日本を訪れたいと思います。私の日本滞在を素晴らしく思い出深いものにしてくれたホストファミリーや皆さんに心から感謝したいと思います。

Malaysian

地震のないマレーシア

Sharon Low Bee Luan

日本で最初の3週間は習志野市のヤザキさんに、そのあとは第2ホストの八日市場市のイトウさんのところへお世話になりました。どちらの家庭でもとても楽しく過ごせました。

初めの何日かは、たくさんのおもしろい場所へ行きました。例えば、お正月、ホストファミリーは私を観光へ連れて行ってくれました。たくさんのお寺へ行きました。そして

日本人のお祈りの仕方を見ておどろきました。またホストファミリーから日本の宗教と信仰についても教わりました。その他興味深かった場所はクルリ町にあるお城です。そのお城は丘の上にありました。私達は丘の上に登るまで長いこと歩かなくてはなりません。丘の上に着いた瞬間、丘や山々の風景のすばらしさに心を奪われて立ちすくしてしまいました。ここは私が今まで訪ねた中でもお気に入りの場所の一つです。それから千葉県南側の海辺へも行きました。ひまなときにはいつもお母さんと買い物へ行きました。私のホストシスターが通っている八日市場にある高校へも行きました。そこで私は日本と私の国との学校のシステムの違いに気がつきました。それは、日本は全員が朝同じ時間に登校することです。でも私の国マレーシアでは、2部に分かれていて下級生は午後から学校へ行き、上級生は午前中に学校へ行きます。校舎へ入るとき、くつを上バキにはきかえることにもびっくりしました。とにかく日本とマレーシアの学校のシステムの違いがいろいろ見られておもしろかったです。

私は全部で3回きものを着たことがあります。最初は、成田インターナショナルカルチャーセンターで着ました。きものの着付けは難しそうだと思います。2回目は20才になる儀式の前に写真をとるために着ました。3回目は1月15日の成人の日に着ました。その日はふれあいセンターへ行きたくさんの美しいきものを見ました。帯が中でも一番きれいでした。私はきものが好きです。私はとても気をつけてきものを着ました。なぜならそのきものはホストマザーのきものだったからです。

ホストファミリーは私にとってもよくしてくれました。私を楽しませようと一生懸命やってくれました。家族のみんながいつも私に全て大丈夫かと聞いてきました。私を気にかけてくれるのです。彼らが私の為にしてくれたこと全てに感謝しています。

マレーシアへ帰る一週間前、大きな地震が神戸をおそいました。八日市場市に何もおこらなくてよかった。けれども関西方面にはマレーシアから多くのYE生が行っています。神戸にいるYE生達が無事でありますように。この出来事は私にとって大ショックでした。マレーシアには地震というものがなく、私達マレーシア人は地震の経験がないのです。日本にいる間時々ゆれを感じました。私からはじめて経験する地震でした。それが起こったときはとても怖かったです。でも私にとってはよい経験でしたし、忘れられないことの一つです。

全体的に見て日本の文化的遺産が印象に残りました。例えば日本人達が礼儀としてひざをついたり、深くおじぎをしたりということが私はユニークに見えました。日本は本当にすばらしく興味深い所でありアジアの国々の中でも豊かな伝統と文化がある国です。

この機会に私を受け入れてくれた八日市場ライオンズクラブに感謝したいと思います。そして私を受け入れてくれたイトウファミリーにも感謝を述べたいと思います。本当に日本での滞在は楽しかった。

ありがとうございました。

M J F 受 賞 者 名 簿

(1994年7月～1995年2月末 MR報告による)

R	Z	クラブ名	M J F 名 ()内は回数	
1	1	市川	野村 泰司 長谷川 一吉 (2)	
		市川東	小河原 雪子 (5) 中沢 弘允 (2) 高木 正平 (2) 石橋 義雄	
		下総中山	松丸 善次郎 (12) 川崎 忠男 (5) 巴 正文 (3) 石井 茂 (2) 齊木 光雄 (2) 松丸 征勝 (2) 鹿島 孝 大久保 博 平野 延仁 松丸 浩一 中島 武夫 吉峯 啓晴	
		市川北	森 希成 高梨 近一 竹内 一雄	
	2	浦安	西野 茂 (16) 鹿野 新一郎 (4) 宇田川 隆 (5) 平林 清重 (4) 宇田川 璋 (3) 醍醐 重盛 (3) 岡本 勝美 (2) 小川 美代子 岡崎 盛夫 (7)	
		浦安シーサイド	松尾 規稔 (2) 長谷川 中 (2) 宮崎 英一 (2) 坂田 敏夫 (5) 朝長 洋 (2) 穂谷 一郎 (3) 鈴木 定雄 (2)	
	2	1	松戸	中川 明 (4) 渡辺 弥一郎 (5) 山野辺 孝夫 (2) 浮谷 俊行 (3) 飯塚平八郎
			松戸中央	坂本 政次 (3) 早見 憲一 岩橋 明 (2) 山村 一雄 板橋 正夫 (2)
松戸ユーカリ			鈴木 泉 宇野 寅雄 田居 照康	
松戸南			松永 智太郎 (2) 笹岡 嘉治 (2) 石井 恵雄 (2) 根本 一男 (2)	
2		流山	駒井 保夫 戸部 正俊 染野 淳三 (4) 皆川 春安 (4) 花野井 源壽 (5) 小谷 正太郎 (2) 五十嵐 正利	
		松戸東	野間 勉 (2) 上田 雅司 (2)	
3	1	野田	関口 忠司 仲 啓一 (2) 高沢 圭助 (2) 中村 正 (6) 染谷 幸雄 (2)	
		柏	寺嶋 周三 (6) 神崎 友美 (4) 助川 廣 (3) 岡田 貞一 (6)	
		我孫子	榎本 栄一	
		印西	内田 誠 (2)	
	2	柏さくら	恩田 友二 鎬木 博史 寺林 幹雄 中山 昭太郎 増田 良英 中村 孝弘 三室 健一郎 藤井 美昭 (2)	
		柏中央	加藤 誠 (6) 渡辺 光男 (4) 山田 宏 (2) 根本 賢二 (2) 河目 敏明 (3) 高田 直寛 (6) 池田 健次郎 (4) 増谷 中志 (3) 根本 静男 (6)	
		柏グリーン	坂巻 眞一 (2) 五十嵐 治孝 津田 登 寺嶋 稔 (2) 辻 松夫 平川 進 (3) 萩原 昭 (2) 野口 精治 (2) 高田 浩 (2) 塚田 裕也 (2) 下山 勝郎 (2) 大谷 洋司 高田 哲夫 岡田 大右エ門 谷川 渡	
		柏オーク	金子 十三男 (4) 小澤 克之 (3) 小塩 和寿 (2) 寺嶋 佳一 (5) 吉野 義定 (4) 鈴木 和夫 (3)	
		柏なの花	植村 力子 (2) 池松 由利子 (2) 東 節子 坂巻 恵子 (2) 井坂 美智子 喜多 美奈子 (2) 坂 喜代 (2) 長沢 千鶴子 山川 美知子 (2) 山本 和子	
		船橋	望月 武峰 (8)	
4	1	船橋中央	行川 金之丞 (8) 矢橋 知己 (7) 田中 清衛 (4) 中 良一 (4) 千田 好明 (4)	
		鎌ヶ谷	西峰 光男 茂野 昭 豊田 朋二	
		沼南	山田 陽一郎 飛井 光明	
		船橋ポート	相川 信善 (2) 林 満 (2) 土井 幸四郎 (4) 山岡 幸夫 (2) 飽田 英世 (2) 鈴木 一二 下福 祐三 齊藤 増寿夫	
	2	船橋東	植野 英男 (5) 森 博文 鶴浦 行生 田辺 強 (2) 近藤 幸治 (2) 実川 洋一 (6) 押見 彰威知 (6) 橋本 修 本多 文雄 (2) 石井 英雄 (7) 井岡 禎一 近藤 英博 (6) 阿多 工 (3)	
		船橋京葉	小田原 隆泰 金子 成康 (3) 窪田 雄二 石井 勝利 (2) 鈴木 行正 (4) 早見 明 桜 井 留治 (3) 川崎 隆二 (2) 古谷 祥一 (3) 今井 良臣 (3) 金子 和夫 (2)	

M J F 受 賞 者 名 簿

R	Z	クラブ名	M J F 名 ()内は回数
4	2	船 橋 北	中村 弘 (2) 宮本 武夫 鈴木 晃秀 (7) 又来 英雄 (2) 大谷 昇 (2) 佐藤 眞
	3	習 志 野	吉田 政勝 (14) 田久保 清一
		八 千 代	鈴木 紘一 川島 光夫 桑原 賢治
		八 千 代 東	井上 徹哉
5	1	千 葉	岡野 正義 (4) 嶋田 建弘 塩沢 健治 (2) 齊藤 榮一
		千 葉 中 央	高山 照襄 (6) 花光 昇一 (3) 花光 長一郎 (3) 富永 恭忠 鶴岡 正次 (2) 矢田 常吉 (4)
	2	千 葉 エ コ ー	池田 繁香 (5) 村山 清 附木 年正 (2) 金子 忠雄
		千 葉 京 葉	江沢 彦俊 長谷川 金吾 板倉 進
6	1	成 田 グ リ ー ン	池田 勝治 伊藤 陸 内海 五郎 飯塚 健史 品田 善男 鈴木 義一 丸 実 水野 正夫 山崎 昭男 米山 秀夫
		富 里	三橋 信夫 (2) 篠原 義行 宮村 良典 菊地 哲
	2	四 街 道	楠岡 巖 (8) 楠岡 徳子 楠岡 とり 楠岡 澄子 楠岡 一則 楠岡 竜太郎 楠岡 真利子
7	1	銚 子	宮内 文夫
		佐 原	上谷 勝男 (2) 本宮 健一 (2) 石橋 直 (9) 長島 彪 (7) 鈴木 常夫 (3) 関 正浩 小 林 春吉 (5) 大崎 保司 (3) 清宮 浩 (3) 松川 忠史
		東 庄	渡辺 金治 (2) 藤崎 久男 (2) 石毛 八千代 菅谷 武 多田 和弘
		神 崎	高橋 半典 (3)
		銚 子 中 央	橋口一夫 (8) 高津 四郎 (4) 宮内 壮明 鈴木 康夫 山口 彦太郎 (3) 清水 恵吉 郷 栄弥
	2	八 日 市 場	柏熊 庄一
		総 武 中 央	吉岡 實 (3) 吉岡 昭 (2) 町山 廣 (2) 土屋 英雄 (2) 古谷 淳 (2) 吉岡 憲一 (2) 鈴木 重男 伊藤 善一 永野 貞雄 (2) 大木 敏郎 伊藤 清治
		多 古	土井 明 松澤 敏雄
		大 栄	竹林 克夫 (4) 山倉 茂男 (3) 山倉 武 大竹 博 藤崎 幸雄 (2) 平野 勇作 香取 照康 (2) 竹林 雅子 平野 芳枝 香取 裕子
		栗 源	手島 廣司
	3	光	椎名 英夫 (8) 大木 康邦
旭		黒須 悦三 (2) 新行内 晃 加瀬 俊雄 (2) 江畑 耕作 (5) 伊東 諒 (2) 飯島 良夫 (2) 嶋田 秀雄 (2) 林 正樹 (2) 高木 勝利 林 義夫 (2) 仲村 敏治 鍋木 護 (3) 井手 勝弘 新行内 嘉夫 石崎 将夫 大川 泰 (2) 古作 稔 加瀬 良雄 金島 武雄 (2) 飯島 恵喜 金谷 貢 (2) 小林 三造 宮川 昂 (2) 飯嶋 甫 伊藤 堯昌 富沢 重治 寺村 一郎 (2)	
飯 岡		高橋 福義 宮内 三郎 磯村 豊司 (2)	
干 潟		岩岡 由和 (2) 宍倉 英信 小林 隆 岩崎 幹夫	
山 田 町		竹蓋 信夫 (2) 多田 信一 (3) 高木 幹男 (3) 菅谷 章 (2) 鎌形 清一 林 薫 (7) 林 政子 千葉 忠治 越川 忍 (7) 都祭 武 越川 しま	
8	1	木 更 津 中 央	石井 丈雄 (4) 佐久間 朗 (3) 近藤 義平 (2) 古谷 茂 (2) 佐々木 幹人 (4) 根本 俊孝 佐久間 努

M J F 受 賞 者 名 簿

R		クラブ名	M J F 名 ()内は回数
8	1	袖ヶ浦	渡辺 清次 鈴木 実(2) 大木 良夫
		木更津金鈴	鳥飼 友季夫(5) 栗原 久次(2) 平野 広志(2) 卯田 實(2) 若林 一(3) 三村 和弘(3) 椿 誠(3) 鈴木 好文(3) 杉 嵩 佐久間 義徳(3) 梅津 潤二(3) 鶴 岡 忠男(4) 島野 光司(4) 鬼頭 薫(4) 磯部 君男(4) 池田 和陽 寺宮 弘正 片山 暁富所 勝善(2)
	2	富津	三辻 敏夫 岡村 理
		上総	高澤 功(7) 鈴木 重一(3) 神子 孝(3) 松本 栄司(3) 鹿島 勇
君津中央		坂本 彬 松田 芳己(3) 保科 嘉彦(7)	
9	1	鋸南	戸倉 ヨー
		館山中央	田中 昌輝
		館山北	庄司 兼次郎 畑 良吉
	2	鴨川	丸 淳一(3)
		房州朝夷	押元 文三
		房州勝浦	庄司 益男 小高 昌伸 吉野 重勝
		夷隅	鶴岡 孝人
10	1	茂原	鈴木 昭三(2) 麻生 喜儀(2)
		茂原長生	斉藤 正幸 山田
		長南	古市 久 大木 泰通
		茂原中央	大和久 徳造 古宮 優
	2	大網白里	錦織 良治 板倉 芳郎(2) 角河 博文
		流山ライオネスクラブ	畠山 しず子
		富津ライオネスクラブ	飯田 洋子
		君津ライオネスクラブ	高橋 征子

編集後記

333-C地区第41回年次大会が4月23日盛会裏に終了いたしました。4月23日の年次大会なら5号・6号合併号として発刊したという考え方もあり、編集委員会でも協議いたしました。6月末までの任期を考えると6月ギリギリまで待って、発刊すべきとの結論から、最終号は7月1日発刊とすることになりました。

3月21日浦安に来県、『東京ベイヒルトン』でLウイリアムズ・H・ワンダー国際第1副会長ご夫妻の公式訪問がなされ、その

一部を掲載しました。周年事業・ACT報告・YE報告等28ページにまとめる事ができました。

前号の請求を終わり、本号と次号の発行ページ数が概ね把握でき、心配していた予算も心配なく一安心です。

来年度の次期PR情報委員長候補予定者と年次大会席上お会いし、エールの交換を行いました。

残された年次大会特集号発刊に向けて、本号配布される時には、編集会議を開催していると思います。

編集委員一同、最終号まで気を抜かず団結して発刊に取り組んでまいります。 -PR情報委員長椎名英夫他編集委員一同



ここに、ないものがある。

それは、完成です。

つねに新しい夢を追求する東京ディズニーランドは、永遠に完成することはありません。

訪れるたびに、思いがけない感動が、いつもよみがえる理由がそこにあります。

世界で最も幸福なところを追い求めた一人の男、ウォルト・ディズニーの挑戦から生まれた夢と魔法の王国の精神は、時代を超え、ここ東京ディズニーランドにも受けつがれています。そして、すばらしい場所を構想し建設するだけでなく、どこまでもひろがる人々の夢を具体化してあらゆる分野で成長しつづけます。

最先端技術によるアトラクション、ディズニーの名作をよみがえらせるライブ・エンターテイメントから、人とのふれあいを大切にするショップ、レストランまで、つねに最高のエンターテイメントをご提供できるよう、東京ディズニーランドは、今日も歩みつづけます。

— 夢と魔法の王国 —

 **Tokyo
Disneyland®**

お問合せは東京ディズニーランド・インフォメーションセンター ☎0473(54)0001代
© The Walt Disney Company